

2020 年度

晴海キャンパス

新入生募集のご案内

Aoba-Japan Bilingual Pre-school

Harumi Campus



1.当校の概要

名称	アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 晴海キャンパス								
所在地	東京都中央区晴海1-8-2 晴海トリトンスクエア 2F								
開校	2008年4月								
2020年度予定	156名								
定員	クラス名	定員	先生:児童比率						
	Seahorse(K1/1歳児)	12名	1:4						
	Seagull(K2/2歳児)	36名	1:6						
	Starfish(K3/3歳児)	36名	1:12						
	Dolphin(K4/4歳児)	36名	1:18						
	Whale(K5/5歳児)	36名	1:18						
保育の種類	月極保育、延長保育、給食、バス送迎								
運営	現代幼児基礎教育開発株式会社								
姉妹校	<ul style="list-style-type: none"> ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 芝浦キャンパス ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 早稲田キャンパス ・アオバジャパン・バイリンガルプリスクール 三鷹キャンパス ・アオバジャパン・インターナショナルスクール(1歳半～高校3年。国際バカロレアPYP・DP認定校。国際認証機関 CIS、NEASC認定取得) ・サマーヒルインターナショナルスクール 								
開校曜日	月曜日～金曜日								
開校時間	7:30～19:30(基本保育時間は9:00～17:00) ※7:30～8:44と17:16～19:30は延長保育時間となり、延長保育料金が発生します。								
休校日	土・日・祝祭日、GW(1週間程度)、お盆休み(8月の1週間)、年末年始、春休み(3月末から4月初旬に数日間)								
建物	鉄筋コンクリート造 3階建ての2階部分 延べ床面積 518㎡								
施設の内容	保育室 6室・トイレ 2か所(乳児用・幼児用)・職員室・事務室・給湯室・シャワー室・ライブラリースペース・園庭								
設備の種類	冷暖房完備、防災設備								
保険	(1)賠償責任の保険 ①賠償責任保険 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">対人補償</td> <td style="width: 25%;">1事故につき 10億円</td> <td style="width: 25%;">対物補償</td> <td style="width: 25%;">1事故につき 500万円</td> </tr> </table> ②生産物賠償責任保険 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">対人補償</td> <td style="width: 75%;">1名1事故につき 10億円/期間中 10億円</td> </tr> </table> ③受託者賠償責任保険			対人補償	1事故につき 10億円	対物補償	1事故につき 500万円	対人補償	1名1事故につき 10億円/期間中 10億円
対人補償	1事故につき 10億円	対物補償	1事故につき 500万円						
対人補償	1名1事故につき 10億円/期間中 10億円								

財物補償	対物 1 事故につき 100 万円(免責 1 万円)
------	----------------------------

(2)個人情報漏えい対応保険

賠償責任保険	1 事故・期間中共通 1 億円
--------	-----------------

(3)児童の傷害保険

死亡・後遺障害	500 万円
入院・1 日につき	5,000 円
通院・1 日につき	3,000 円

(4)火災保険

設備什器等	2,500 万円
借家人賠償	2,000 万円

教職員 11 名(うち外国人 6 名)、保育補助 8 名、看護師 1 名、事務 2 名、バス運転手 2 名、設備管理 1 名、清掃 1 名(2017 年 8 月 31 日現在)

在校生保護者 日本(約 85%)、中国、アメリカ、イギリス、台湾、韓国、インド、フランス、フィリピン
出身地

理事長 柴田 巖
京都大学(工学修士)、London School of Economics (MSc)、Kellogg Graduate School of Management (MBA)卒。コンサルティング会社等を経て、1998 年、インターネット事業を手がける㈱エブリデイ・ドット・コムを設立。エブリデイ・ドット・コム、オレンジライフ、旬工房等の代表取締役を歴任。現在、ビジネス・ブレイクスルー取締役、ビジネス・ブレイクスルー大学大学院教授、アオバジャパン・インターナショナルスクール理事長、JCQ パイリンガル幼児園理事長、サマーヒル・インターナショナルスクール理事長。アオバジャパン パイリンガル プリスクール

校長 板倉 平一
長野県出身 関西大学卒
外資系サービス業、外資系語学学校を経て 2006 年 6 月(株)ビジネス・ブレイクスルー入社。
社会人向け研修およびマーケティングを担当。2012 年(株)アオバインターナショナルエデュケーションシステムズ(アオバジャパン・インターナショナルスクール)出向。2005 年 4 月同社執行役員、2017 年 6 月同社取締役。

アドバイザー・支援体制 Mr. Ken Sell アオバジャパン・インターナショナルスクール 学校長
オーストラリア出身。The University of Queensland で教育学修士を取得。これまで、ノルウェーや中国深圳の国際バカロレア認定インターナショナルスクールで Head of School を歴任。2014 年 8 月に、アオバジャパン・インターナショナルスクール学校長(Head of School)に就任。

Mr. Kevin Page インターナショナルスクール・オブ・ベルン 名誉校長(スイス)
ニュージーランド出身。イギリス・スイス・オーストリア・ドイツのインターナショナルスクールで教鞭をとる。この間、特定の国家が規定するカリキュラムではない国際的な幼児初等教育カリキュラムを構築する活動(のちの国際バカロレア PYP)に深く関与。

大迫 弘和 先生 アオバジャパン・インターナショナルスクール アドバイザー
東京都大田区生。小中高時代は横浜で過ごす。東京大学文学部卒業。1987 年-1991 年在英。これまでに千里国際学園中等部高等部(現関西学院千里国際中等部高等部)校長/学校長、Doshisha International School, Kyoto 校長、IB Japan advisory committee 委員、東京都英語教育戦略会議委員等を歴任。現在リンデンホールスクール中高学部(IB World School)校長を務める傍ら都留文科大学特任教授、広島女学院大学客員教授(国際バカロレア調査研究室長)、神戸親和女子大学客員教授等を兼任。千代田インターナショナルスクール校長。

著書:『国際バカロレアを知るために』(2014年 水王舎)『国際バカロレア入門—融合による教育イノベーション』(2013年 学芸みらい社)『がっこう』(2012年 かまくら春秋社)、『アクティブ・ラーニングとしての国際バカロレア—「覚える君」から「考える君」へ』(2016年、日本標準)等多数

ミッション

私たちは、グローバルな視座を持ち、思いやりがあり、協力的で、そして学ぶことに深い喜びを感じ、リスクを恐れず新しいことに挑戦し世の中を変えていくことのできる、そうした生徒を育てていくことを信条としています。

We are dedicated to developing global-minded, compassionate, collaborative students inspired to learn, take risks, and lead change in the world.

ビジョン

私たちは、学習に適した安全でサポーターティブな環境の中、生徒たちに厳しくしっかりとした国際教育を提供する、一流のスクールになります。学ぶ者のニーズは支援され、独自のものの見方は歓迎・尊重され、価値観は大事にされ、育まれます。生徒一人一人は将来待ち受けるベストの状況を確認し、成功するためにいくつもの機会を与えられます。

Aoba-Japan Bilingual Preschool will continue to be a leading school by providing students with a rigorous international education in a safe and supportive environment conducive to learning in which learners' needs are supported, their perspectives sought and respected, and their unique qualities valued and nurtured. Through a continued emphasis on educational excellence and innovation, each individual student will be provided relevant resources and opportunities that will enable them to secure the best of what the future holds for them.

理念

“Be the best you can be” / 一人ひとりの最適な才能を開花しよう



2. 2020 年度のプログラム概要

国際バカロレア に基づく 探究型学習

当校は国際バカロレア協会の審査を経て、2017 年 3 月 23 日をもって、国際バカロレア初等教育プログラム (International Baccalaureate Primary Years Program 以下「IB-PYP」) の認定校として承認されました。

国際バカロレア (IB) は、「探究型学習」という学習アプローチを採用しています。発達段階に応じた児童の興味を喚起するテーマが提示され、児童は能動的に探究し、仲間同士で新たなものを創りあげたり、自己表現したりすることを繰り返します。この過程で将来の論理的思考力、創造力、チームワーク力、プレゼンテーション力等の基礎を育みます。また IB の探究型学習は、文部科学省が 2020 年度に全面改訂を予定する小学校の学習指導要領で重視される「アクティブ・ラーニング」と呼ばれる手法と親和性が高く、将来の為だけではなく、小学校入学時から大きく役立つものと存じます。

なお国際バカロレアの認証維持には、約5年に一度の監査に合格する必要があります。当校は、IB認定校である限り、児童にとってよりよい環境の維持・改善を行います。

バイリンガル教育

英語力修得のゴールは、いかに多くの単語やフレーズを記憶したかではなく、どれだけ自発的に伝えたいことを伝えられるか、にあります。この目的達成のため、英語を子どもの興味や好奇心から切り離された単独の教科として学ぶのではなく、国際バカロレアの探究テーマに連動し、好奇心があることを英語を使いながら探究することを通じた学びを重視します。

先生は一方的に教えるのではなく、積極的な語りかけ・対話を意図的に行います。このアプローチにより、児童は自発的に「英語で話したい」内容と動機が生まれ、英語で自由に自己表現できる力が育まれていきます。複数名の英語講師に加えバイリンガル教員も複数常勤し、学びの時間だけではなく日常的に英語に触れ合う環境があります。

1,2 歳児は集中力が短いこともあり、無理の無い形をとりつつも積極的な語りかけ、歌、遊びを通じて英語の耳を徹底的に養います。英語のみの時間のほか、普段の時間も英語またはバイリンガルの先生が積極的に英語で話しかけていきます。

3,4,5 歳児は、国際バカロレア (IB) のプログラムがスタートしますので、IB の探究活動ならびに関連したトピックの時間が主となります。曜日ごとに言語を変え、フォーマルな英語教育だけでなくさまざまな活動を英語で行い、英語での自然なコミュニケーションを通じて英語力を獲得するイマージョン (英語に浸る) 教育を導入します (後述の時間割モデルをご参照ください)。

スペシャル プログラム

当校では保育料に含まれるプログラムと、別途料金の発生するアフタースクールプログラムがあります。

将来世界の人々と対峙し、様々な困難も乗り越えて活躍し夢を実現できる人材を育むうえで、幼児期における体力づくりは非常に重要な要素です。近隣の公園での外遊びを毎日行うほか、体育を2歳児から、空手を3歳児から、更に水泳を4歳児から、必修プログラムとして組み込んでいます。

また乳幼児期には、絶対音感やリズム感の臨界期があるとも言われています。これを効果的に育む音楽・リトミックを、必修プログラムとして導入しているほか(リトミック資格者1名が校内常勤)、5歳児では算盤を導入しています。

オプションプログラムは、共働きのご多忙なご家庭でも移動や時間の負担無くご利用しやすいよう、全て校内で提供するものです。原則スクールのコア時間が終了する17:00以降の実施となります。(一部例外あり)

必須プログラム(保育料に含まれる)	対 象
リトミック	K1～K5
体育	K2～K5
空手	K3～K5
水泳	K4、K5
そろばん	K5
アフタースクールプログラム(希望者のみ)	対 象
ピアノ個人指導	K3～K5
バレエ	K3～K5
ダンス	K3～K5
アスリートキッズ	K3～K5
名門小学校受験教室	K2～K5、一般
(土曜)Saturday English School	在児童、卒児童、一般

*上記プログラムは2019年現在のものであり、今後変更・追加される場合があります

時間割のモデルスケジュールについて

下記は標準的なスケジュール例です。年次や学期によって具体的な時間割は異なります。最終版は各年度の開始前に配布します。

K1, K2 モデルプラン K1,K2 Sample Schedule

9:00-9:30	ラーニングセンター Learning center
9:30-10:30	朝の会・テーマ活動/ Morning circle, Thematic Activities
10:30-11:00	外遊び / Outside play
11:00-12:30	ランチ準備・ランチ / Preparation for lunch, Lunch time
12:30-14:30	おひるね / Nap time (年齢によりおひるね時間は増減します)
14:30-15:00	午後の活動準備/Preparation for afternoon
15:00-15:30	スナックタイム Snack time
15:30-16:30	テーマ活動、言語・かず・フォニックス・アート・音楽・リトミック、帰りの会/ Thematic Activities, Arts, Crafts, Music, Eurhythmics, Phonics, Language, Afternoon circle
16:30-17:00	ラーニングセンター/Learning center

K3, K4, K5 モデルプラン K3,K4,K5 Sample Schedule

*「UOI」と書かれた時間はIBの探究テーマ(Unit of Inquiry)の時間です。
*外遊びは、年齢やおひるねの有無に応じて、適切な時間帯に行います。

9:00-9:30	ラーニングセンター Learning center
9:30-9:50	朝の会 / Morning circle
9:50-12:00	UOI/Unit of inquiry
12:00-13:00	ランチ / Lunch time
13:00-14:30	おひるね/Quiet time (年齢によりおひるね時間は増減します)
14:30-15:00	スナックタイム・午後の活動準備/Snack time, Preparation for afternoon
15:00-16:30	スペシャルプログラム・言語の時間・帰りの会/Special Program, Language time, Afternoon circle
16:30-17:00	ラーニングセンター/Learning center

Academic Calendar (Basic calendar)

April	Entrance ceremony, Spring Carnival (at A-JIS Hikarigaoka)
May	Spring fieldtrip (K1&K2 classes) , Medical Check
June	Dental Check
July	Tanabata, Mizuasobi
August	Summer School
October	Sports Day, Bookday, Medical Check
November	Autumn fieldtrip (K1&K2 classes) , Dental Check
December	Winter concert, Winter break
January	New Year Week
February	Setsubun, PYP Exhibition
March	Graduation, Spring break

*This schedule is subject to change upon the year and grade

3. Tuition and Other Fees for School Year 2020–2021

No.	全生徒対象のもの	Fee (Japanese Yen)	Payment	Remarks
1	Enrollment Fee	180,000	One time	* Current AJB Siblings Discount 50% off
2	Insurance	10,000	Once a year	All Class
3	Tuition		Monthly	* Current AJB Siblings Discount 30% off
	K1–K2 Class	128,000		
	K3–K25Class	125,000		
4	Facility Fee	10,000		All Class
5	Facility fee for Pool	5,000		K4–K5 Class
6	Lunch	12,960		Every Lunch
7	Snack	3,700		Every Snack
8	Rental fee for the quiet time mat	800		K1–K3 Class
No.	Applicant only	Fee (Japanese Yen)	Payment	Remarks
9	Until 15h/month	14,500	Monthly month	Monthly fixed rate
	Until 20h/month	19,000		
	Until 30h/month	27,000		
	Until 40h/month	34,000		
	Until 50h/month	40,000		
	Until 60h/month	45,000		
	Until 70h/month	49,000		
10	Spot Fee	800		
11	School Bus	20,000 (Round Trip)		
		10,000 (One way)		
12	Dinner	510		
No.	Others	Fee (Japanese Yen)	Payment	Remarks
13	After School Program (ASP)	—	Every month	Fee will be depending on each program
14	Goods	—	Before entrance	Cap etc.

※The After School Program will follow the terms set by each Program Organizer.

4. Admission requirements of SY 2020

Number of positions	K1: 12 K2: 24 K3~K5: Depends on vacancy	
Age requirements	Class K1	Born between April 2nd,2018 and April 1st,2019
	Class K2	Born between April 2nd,2017 and April 1st,2018
	Class K3	Born between April 2nd,2016 and April 1st,2017
	Class K4	Born between April 2nd,2015 and April 1st,2016
	Class K5	Born between April 2nd, 2014 and April 1st,2015
Duration of submission	August 1st (Thu) 18:00pm~September 9th (Mon) 15:00pm	
Applications	① Enrollment Document・Statement of Purpose (Submit by internet) ② Family photo * Check next chapter for the submission information	
Steps of Selection	First screening: Screening application documents. Second screening: Group screening test of the children and a parents-and -child interview	
First screening (Application documents screening)	Regarding the results, we will contact you through email. ※Results of the first screening will be presented on September 12th (Thu)	
Fee for the second screening	5,000JPY ※Deadline for the transfer: September 19th(Thu)	
Second screening (Group Screening and Interview)	Date: One day of September 21st (Sat) and 22 nd (Sun). (It depends on number of the applicants.) ※We will contact you the date and time after we confirm the payment of the fee. ※It will take approximately one hour and thirty minutes. We generally ask both parents to attend the interview. ※We will make contact you about the results in the beginning of October.	
Entrance fee	180,000JPY (A half price will be charged for siblings) ※You will transfer to the school bank. The end of October will be the deadline.	
Acceptance letter	It will be sent to you once we confirm the payment of the entrance fee.	
Before entrance ceremony	We will send you documents the beginning of December by mail., so please submit all necessary documents before deadline	
Notes	Please acknowledge followings before the submission of the application. <ul style="list-style-type: none"> ▪ We will not return the applications you will submit. We will not use your personal information unless we use it during screening processes. ▪ We will not refund you the entrance fee for <u>any reasons</u> after the payment is made. ▪ We cannot answer questions regarding the reasons for acceptance/non-acceptance. ▪ We will not accept any changes for the interview date and time. 	

■Application Process

Please submit 'Enrollment Document', 'Statement of Purpose', and 'Family Photo' online.

Online Application Process: Please submit the application through following webpage, and upload files of ① and ② documents.

Documents you submit at the same time	① Statement of Purpose
	② Family photo file.(Snap photo is acceptable. Your child and your face must show clearly in photos)
	Regarding ①, you can download through our school webpage, and you can type it in a Microsoft Word document. The URL is following. Word File: https://bit.ly/2Z9O7dv PDF File: https://bit.ly/2TIuBDA
Submission	You can access to the webpage for submission from following webpage. https://bit.ly/2S66s9s

【Personal Information Privacy Policy】

Your personal information is a fundamental concern of our school. In our school, we will not use, present or sell your personal information except presents our school service. However, we will present your information in emergency case such as getting inquiries from police or public institution under Japanese law.

現代幼児基礎教育開発株式会社